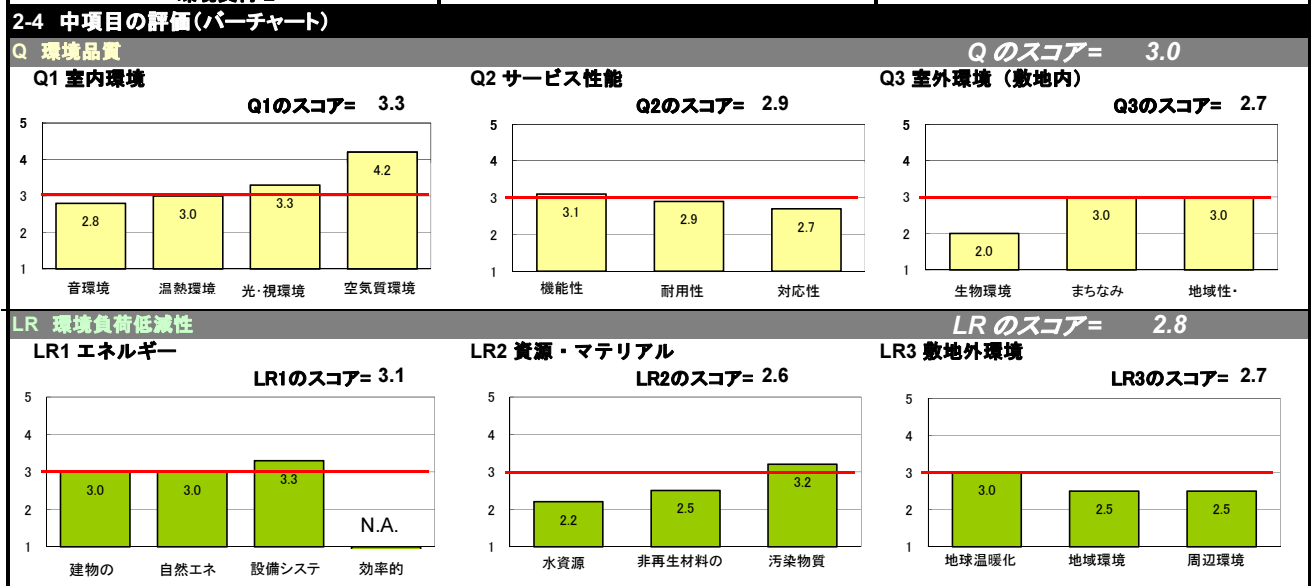
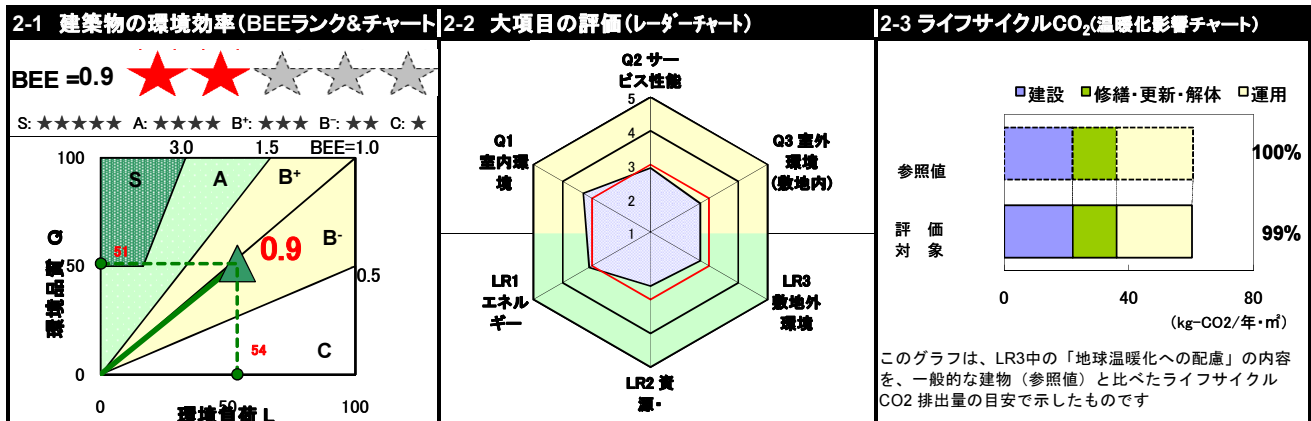


CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)深草綿森町計画	階数	地上7階
建設地	京都市伏見区深草綿森町21番、21	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	117 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2011年7月 予定	評価の実施日	2010年7月7日
敷地面積	979 m ²	作成者	
建築面積	699 m ²	確認日	2010年7月7日
延床面積	3,773 m ²	確認者	



3 設計上の配慮事項		
総合	その他	特に無し
地域環境に配慮し、なじむようデザインした。		
Q1 室内環境 快適に生活する上で必要とされる音・光視環境について配慮し、計画を行った。	Q2 サービス性能 バリアフリー計画について配慮した計画をおこなった。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地境界周りに植栽計画を行い、良好な環境を形成するための配慮を行った。
LR1 エネルギー 特に無し	LR2 資源・マテリアル 特に無し	LR3 敷地外環境 敷地境界周りに植栽計画を行い、建物の圧迫感をなくし、敷地外環境に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される